

令和2年度「いじめ調査（年間）」のまとめ

1 過去5年間の認知率の推移について・・・実人数による割合

認知率	小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	小学合計	中学1年	中学2年	中学3年	中学合計
平成28年度	49.2%	40.7%	36.7%	30.7%	20.2%	17.1%	32.0%	10.7%	4.0%	2.0%	5.5%
平成29年度	58.3%	37.5%	36.4%	31.5%	18.8%	11.9%	31.4%	8.2%	4.0%	1.1%	4.2%
平成30年度	46.7%	51.6%	41.2%	34.9%	23.4%	16.1%	34.7%	8.6%	7.8%	1.5%	5.8%
令和元年度	46.2%	33.0%	45.8%	33.8%	23.6%	13.1%	31.7%	10.8%	5.0%	4.8%	6.7%
令和2年度	47.0%	28.0%	21.8%	31.9%	15.6%	10.8%	25.2%	6.2%	5.4%	1.7%	4.4%

ア 京丹後市内すべての小中学校において、いじめを認知している。

イ 1000人あたりの認知件数は、京都府において小学校145.2件・中学校49.6件（平成元年度）に対し、京丹後市は、小学校252.3件・中学校43.9件（令和2年度）であった。

ウ 年間（合計）の認知率を令和元年度と比較すると、小中学校ともに減少している。また、小学校は、過去5年間で最も低い認知率となっている。

エ 同一学年を経年で比較すると、すべての学年で減少している。

2 態様について

小学校		中学校	
京丹後市（年間）	京都府（R2・2回目）	京丹後市（年間）	京都府（R2・2回目）
冷やかしやからかい等 (38.9%)	冷やかしやからかい等 (39%)	冷やかしやからかい等 (56%)	冷やかしやからかい等 (53.5%)
軽くぶたれたり蹴られたり、 遊ぶふりをして叩かれる (19.4%)	軽くぶたれたり蹴られたり、 遊ぶふりをして叩かれる (18.5%)	軽くぶたれたり蹴られたり、 遊ぶふりをして叩かれる (8%)	軽くぶたれたり蹴られたり、 遊ぶふりをして叩かれる (14.2%)
仲間はずれ・集団による無視 (12.4%)	仲間はずれ・集団による無視 (12.6%)	仲間はずれ・集団による無視 (8%)	仲間はずれ・集団による無視 (7.8%)
ひどくぶたれたり、けられたり する(10.2%)	嫌なことや恥ずかしいこと、 危険なことをされたり、させ られたりする。 (8.4%)		嫌なことや恥ずかしいこと、 危険なことをされたり、させ られたりする。 (5.9%)
【SNS】 パソコンや携帯電話等での誹 謗中傷や嫌なことをされる (2.2%)	パソコンや携帯電話等での誹 謗中傷や嫌なことをされる (1.6%)	パソコンや携帯電話等での誹 謗中傷や嫌なことをされる (6.8%)	パソコンや携帯電話等での誹 謗中傷や嫌なことをされる (4.2%)

ア 態様は、ほぼ京都府と同じ傾向にある。

イ 「SNS」を介した態様は、オンラインゲームや無料通話・モバイルメッセージアプリでのトラブルが小中学校ともあげられている。また、全体の態様の中で占める割合は、小中学校とも令和元年度よりやや増加している。

3 「重大事態」について

年間を通して、「重大事態」の認知及び発生はない。

4 今後の課題について

- (1) いじめは、「すべての児童生徒に起こりうる、全ての児童生徒が加害者にも被害者にもなりうる」ということを踏まえ、児童生徒一人ひとりにとって安心・安全な学校づくりを推進する。
- (2) 認知件数・認知率が減少しているが、いじめ調査に書けない児童生徒がいることを踏まえ調査以外の方法や教職員の日常的な見守り、児童生徒が相談しやすい信頼関係の構築に努める。
- (3) 「学校いじめ防止組織」等の会議の確実な実施と、学校等における「居場所づくり」に向けて、学校経営の見直しや授業改善等の未然防止・早期解決の取組みを推進する。